

令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	サイクリングによる観光産業の活性化事業
事業主体 (連絡先)	大鹿村観光協会 大鹿村観光協会大河原389
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大 ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	4,486,458 円 (うち支援金: 3,432,000 円)

事業内容

地域住民がサイクリングを通して地域の魅力を再認識し、サイクリストが地域に何を求めるのかをテーマに講師の経験に基づき、地域全体で自転車振興に関われるような講演会、サイクリングへの関心を高め地域への普及を目指すために「大鹿探索ツアー」を開催した。また、休止林道を視野に入れたサイクリングコース造成のため、行政担当者や専門家の指導を仰ぎながらコース原案を作成し、住民を交えて意見をもらいながらブラッシュアップしていく。さらには、大鹿村教育委員会等から協力を得て、一般・住民参加のジオライドお試しツアーを開催し、中央構造線にまつわる露頭や鉱物・断層鞍部を見学でき、所要時間、学術、飲食店や販売店、給水スポットやトイレ等サイクリストにとって必要な位置情報をライド中に確認できるパンフレットを制作し、近隣町村や村内施設に配布した。



【福島氏による講演会の様子】



【新コース試走の様子】

【目標・ねらい】

- ①地域住民が講演を聞いたり実際に自転車で村内を巡ることでサイクリストが地域に何を求め地域住民は何ができるのか考える機会にするとともに、サイクリングを通して地域の魅力を再認識したりサイクリングへの関心を高める。
- ②休止林道を活用しながら大鹿村の良さが感じられるコースを実現するために、実際に走ることによって安全性や景観の良さを見つけ出し、新コースを作っていく。
- ③サイクリストにとって必要な位置情報をライド中に確認できる手ごろな大きさのパンフレットを制作する。

事業効果

- ①元ロードレース選手である福島晋一氏が体験談を織り交ぜた話であったため、自転車に対する興味関心を持つことができた。また、スライドを使ったことで視覚からも見て取れイメージしやすく聞くことができた。地域住民の声援や環境整備などの配慮がサイクリストにはありがたい事、子供の頃から自転車にかかわる機会を作ること等、考えさせられた。
- ②探索ツアーでは、サイクリングする人のために飲み物や手作りのデザート等もてなしてくださる住民も自ら名乗り出てくれ、地域住民とサイクリストの関係がもてた。
- ③新コース造成では、天空の池、二子山等目指して試走した。休止林道は人の手がほとんど入っていないため、大自然を直接身近に感じることができ、サイクリスト向けのコースである。天空の池の上部からの景色は日本とは思えないほどの壮大な山々が望め、疲れも忘れるほどの絶景ポイントである。村長を交え、試走会で得た感想や反省、今度どう進めて行くか話し合わせ進展した。
- ④パンフレットに載せるためのコースを実際に自転車で走り検討したことで、距離・高低差など測定でき、目標通りのパンフレットとなった。

今後の取り組み

- ①大鹿村民が“サイクリング”に対して興味関心を示し始めている。SNSや広報などで地域住民に周知し地域住民参加型のサイクリング事業をさらに普及させ、給水所やトイレを貸してもらえらる地域住民を増やしていきたい。
- ②休止林道を視野に入れたサイクリングコースの造成では今後、興味を深めた村民を加えてトレイル構想会議に出席し、新たなサイクリングに特化した地域おこし協力隊を据え早期に実現できるよう努めていきたい。また、住民共同で新たなトレイルコースを一緒に見つけ出してくれる村民を募りたい。
- ③新しいパンフレットを活用しガイドをつけたジオツアー・エコツアーを年5回の実施が決まっている。また、ホームページを新設するため、その中でもこのマップが反映できるようにしていきたい。

※自己評価【A】

【理由】

- ・講演会講習会共に予想を上回る参加者となった。
- ・地域住民の方がおもてなしをしたり、サイクリングに興味を持ち村民参加によるライドツアーが実施できたから。
- ・距離・高低差など測定しながら試走し作成したため、コースレベル・露頭や鉱物・断層鞍部を見学できるルート所要時間などをほぼ正確に示し、地図上に落とし込んだMAPに仕上がった。ジオにまつわる「見どころ」も載せてあり、大鹿村の特色を楽しめるMAPとなった。